

ひまわり

令和6年9月号



↑カラー版はこちらから

「災害時を想定することの大切さ」

校長 門脇 伸也

今年の9月は、例年に比べて暑かったり、大雨だったり異常気象が多くありました。地域によって差異はあると思いますが、多くの方々が体温管理には特段の注意をしてきたことと思います。10月になり、ようやく朝夕に涼やかな風が吹き、新たな季節を迎える喜びを感じています。

9月はこのような中でしたが、26・27日に一泊2日で中学部3年生の修学旅行を実施することができました。残暑はありましたが初日は天気恵まれ、午前には港区増上寺を訪れました。大きな屋根と青空にそびえる東京タワーが印象的でした。午後は日本科学未来館を見学しました。その夜の天気予報では、翌日は午後から警報級の大雨ということで心配しましたが、翌朝はどんよりとした雲に覆われた空で、午後から小雨となりました。この日の午前中は、日本橋三井ホールでモネと印象派の画家たちの展示を見て、日本橋三越本店の特別食堂で昼食をとりました。その後、生徒の体調の状況と校外学習による疲労を考慮し、午後の予定を切り上げて学校へ戻ることにしました。学校に着いた時、生徒に安堵の表情が見られました。生徒にとって学校は安心・安全な「場」であることを改めて感じました。

10月10・11日には中学部1・2年生の移動教室、10月24・25日には小学部5・6年生の宿泊体験が続きます。児童・生徒の環境に対する体調の変化に今まで以上に気を配り、日常の学校生活や宿泊行事が思い出深いものとなるようにしていきたいと思います。今後とも御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

話題を変えまして、8月19・20日には、第67回全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会・全国特別支援学校肢体不自由教育校長会合同研修会が、石川県立いしかわ特別支援学校を会場に開催され、参加してきました。年明け早々の能登半島沖の大地震で被災し、未だに2700軒の御家庭が避難生活を送られています。現地の学校の教育の中にも、まだまだ地震の影響が残っていました。この石川・金沢の地で今大会が開催されたことで、「災害」と「教育」について深く考える機会となりました。

私たちが暮らす新宿区でも地震や大雨が発生する可能性があります。災害の影響は、障害ある方や高齢の方にとって深刻なものとなります。そこで、まずは御家族や身の回りの方々と共に、災害時の連絡手段や避難場所、安全かつ迅速な避難方法等を確認することが重要です。また、災害への備えとして、非常食や水、薬などの備蓄、個人に必要な物資の持ち出し方法の確認も必要です。

さらに、避難所で安心して過ごせるよう、区や関係機関が提供している支援サービスや施設についても事前に調べておくことも必要です。とりわけ、避難行動の要支援者名簿や個別避難計画は区で作成済みです。平常時から、個別避難計画によって区や関係機関が提供している支援サービスの中でどのようなものを受けることができるか、確認しておくことが大切です。

本校では9月4日に総合防災訓練を実施しましたが、かつての東北の大震災を思い起こすと、保護者の方へ無事に児童・生徒を引き渡すまでの学校としての準備や、区や地域との協力体制の構築について、まだまだ課題があることに気付かされます。災害は、一人ひとりが関心をもって備えることで、その被害を最小限に食い止めることができます。安心できる学校を作るために、外部との連携をさらに強いものにしてきたいと思えます。

「交流の日」

今年も、児童・生徒が各学年・学部の出し物を回る校内縁日を13日に、保護者の方を招いてお祭りを回っていただく新宿養護祭りを14日に実施しました。今回は地域の方を招待して、お客さんとして出し物を回っていただきました。様々な出し物が並び、児童・生徒は来校していただいた皆さんに楽しんでいただくため、準備や飾り付け、説明やダンスの練習に一生懸命取り組みました。当日はその成果が発揮され、とても賑やかな二日間となりました。

とても暑い中でしたが、御来校いただいた皆様には様々御理解、御協力をいただき、誠にありがとうございました。



「こすもす1・2グループ半日校外学習」

こすもすグループの半日校外学習は、新宿区市谷本村町にある「JICA 地球ひろば」に行きました。学校からスクールバスで向かい、施設内では3グループに分かれて、①世界の民族衣装と楽器体験、②世界の課題、③SDGsの取り組みについて学習しました。

具体的には、①では、各国の民族衣装を着たり、学校でも触ったことのあるレインスティックなどの伝統楽器を演奏したりしました。②では、食料・貧困・教育などの国際問題について、食品サンプルや実際の文房具を触ったり、タブレットを操作したりして学習しました。③では、映像や光る電子地球儀、大きな歯車パズルなどを操作して学びました。

1時間ほどの滞在時間でしたが、グループの友達や先生と一緒に様々な体験型展示を通して楽しみながら学習することができました。



「小学部2年生半日校外学習」

9月6日（金）、小学部2年生の半日校外学習で「新宿コズミックセンター」にあるプラネタリウムを鑑賞してきました。プラネタリウムを鑑賞する時は、明かりがなく真っ暗になってしまうので、子どもたちが不安な気持ちにならないように、教室を暗くして家庭用プラネタリウムを鑑賞し、暗さに慣れる練習を何度か行って当日を迎えました。

当日は、児童の実態に合わせたプログラムを約40分間鑑賞しました。新宿の街並みから現れる太陽や月、飛行機などに子どもたちは興味津々。やがて宇宙に飛び立ち、火星や木星などの惑星、星々によって連なる星座を鑑賞すると、指をさして「あったー！」と見つけた喜びを表現する児童もいました。真っ暗な中でも、子どもたちは落ち着いて星空を楽しむことができました。

先日、「中秋の名月」について2年生の皆で学習する機会がありました。満月の写真を提示して「これ、何か分かりますか？」と聞くと、皆が口を揃えて「つき！」と答えたり、空を指差したりしていました。プラネタリウムでの体験が、子どもたちの中で生きていることを実感しました。



「児童・生徒会活動について」

新宿養護学校の児童・生徒会は、小学部5年生から中学部3年生の幅広い学年層のメンバーが、日々の学校生活をより良くしていきたいという思いをもって集まり、活動に取り組んでいます。1学期は、あいさつ運動、緑の募金活動、学校行事の司会を行いました。昼休みや登下校の時間を使い、定期的に活動を行っています。2学期以降も、交流の日や運動会の司会、ペットボトルキャップ運動、ふれあい月間といった様々な活動があります。

これからも児童・生徒会メンバー全員で、より良い学校生活に向けて精一杯取り組んでいきます。

